

「ねこの手」紹介

2015.5.8 腰原

昨26年2月、矢野さんを世話役に「ねこの手」と称して富田地区での農作業協力組織を設立しました。

狙いとしては老世代農家の手を必要とされている方々への手助けが一部なりとも出来ればと考えたことにあります。

主旨賛同のメンバーを募ったところ12名が手を挙げスタートしています。

手弁当のボランティアですが、「作業時に無償ということでは頼みにくい」と農家の方々の話もあり、交通費や弁当代として報酬を受けることとしました。

(協力者の作業時間に応じて精算)

下記の要領で関係者に案内をし、1年目は8軒から通算60余日分の依頼があり断ることなく順当に行うことができました。

作業内容は、生姜や落花生の播種と収穫、葱の植付けや出荷準備、畑の除草、子牛牛舎用の稻藁束ねなどが主なものでした。

一連の流れは、依頼→確認調整→募集連絡→協力可能受信→人決定→実作業とつなげ各自の体調や都合に応じた協力を得て展開です。

依頼日時が重複した際には人数のやりくりですが、対応は終日や午前・午後に分けて処置しています。

いずれにせよ依頼された方達に非常に感謝していただけたこと「次回もお願ひしたい」との言葉が返ってきたことなどが何よりの励み、喜びでした。

主旨によるだけにメンバーも限定されると思いますが一端を紹介しました。

なお本年度は連絡窓口を腰原、藤島（事務局）が担当して進めています。



ご案内 「ねこの手」を発足させました

目的 生産者の皆様が、私達の老働力（労働力）を利用くださり永年にわたり蓄積された農地、知識、経験、機械、資材等を活用されて、少しでも永く生産を続けて頂ければ地域の活性化にも役立てると考えました。

出来ること 私達は60歳以上で、播種や管理（草取り、収穫等）は可能ですが機械操作は行いません。

作業指示は守り、邪魔や迷惑にならぬよう十分注意します。

老働力につき2名で1人分とお考えください。

作業時間 原則として 午前9時～12時 午後1時～4時 の各3時間です。
それぞれの合間に15分程度の休憩をお願いします。
弁当は各自が準備し持参します。